

友 小谷小学校と小笠北小学校の児童が交流 好都市でつながる児童の輪



1花のアーチで歓迎 2 3 4 5 ドッジボールやレクリエーションゲームを通じて親睦を深める児童 6 きくのん・茶ラリーマンと一緒に集合写真

7月17日、市と友好都市協定を結んでいる長野県小谷村の小谷小学校5年生16人が、臨海学習の一環として市を訪れ、小笠北小学校5年生56人と交流しました。児童はお互いのまちや学校の良い所を紹介したり、運動などを通じて親睦を深めました。ドッジボールでは、白熱した戦いが繰り広げられ体育館に歓声が響き渡りました。小谷小の児童が考案したレクリエーションゲームでは、「木こりとリス」「電気鬼」も行われました。ペア同士で、緊張しながらも、うれしそうな様子でお互いに自己紹介。最後に、小笠北小児童から手作りのメダルや深蒸し菊川茶のリーフ茶とペットボトルが、小谷小児童一人ひとりに配られました。

ア 駅前広場にウォールペイント公開 アートでまちを元気に

7月5日、JR菊川駅前に「きくがわジュニアアート教室」で制作したウォールペイントが展示され、オープニングセレモニーが開催されました。NPO法人アートコラールきくがわの主催。制作には常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科の生徒59人と小中学生44人が参加し、企業も協賛して実現しました。鮮やかな色彩と創造性にあふれた作品は、JR菊川駅南北自由通路が完成する令和8年3月まで展示されています。ぜひ、ご覧ください。



完成したウォールペイントの前で記念写真

金 岩崎恭子さんが河城小学校に来校 メダリストが実技指導

7月1日、河城小学校にバルセロナオリンピック競泳金メダリストの岩崎恭子さんが来校し、6年生児童に水泳を教えました。7月からパリで開催されているオリンピック・パラリンピックのレガシー教育として開催。岩崎さんが35人の児童に向け、講演とプールでの実技指導を行いました。岩崎さんが、個人メドレーを披露すると、児童は「速い」「泳ぎがきれい」と歓声を上げ、本物の金メダリストを前に興奮した様子でした。



1 プールで実技指導 2 金メダリストの話を聞く児童